

特集

姉妹都市

リンツ

-Linz-



リンツ市の中心にあるハウプトブラッツの様子。この広場では、冬になるとクリスマスマーケットが開かれます。

今年、友好150周年を迎えた日本とオーストリア共和国。本市とオーストリア・リンツ市が姉妹都市協定を締結して、早3年が経過しましたが、まだまだ知らないことも。今回の特集では、締結以前から始まり現在も続いている交流の様子や、「姉妹都市リンツ」について紹介します。

歴

史ある街並みが今も残る商工業都市「オーストリア・リンツ市」。近年は欧州文化首都に選ばれるなど、現代アートの最先端を行う一面も持ちます。今でこそ、本市の姉妹都市として活発に交流していますが、交流のきっかけは明治時代までさかのぼります。

当時、ドイツ公使や外務大臣を歴任した青木周蔵。不毛の大地と言われた那須野が原に農場を開き、青木小学校を創設するなど、地域の発展に多大な貢献をしました。国重要文化財として今も残っている青木周蔵の別邸(旧青木家那須別邸)を、一度は訪れたことがある人も多いのではないのでしょうか。その青木周蔵の子孫であり、リンツ市在住のニクラス・サルム氏が本市を訪れ、本市とリンツ市の交流は始まりました。

平成17年からは中学生海外派遣研修事業が始まり、今年も34人の子どもたちがリンツ市へ。今では相互交流が行われるまでになりました。平成28年に姉妹都市協定を締結してからは、世界的アーティストを本市に招き展覧会やワークショップを行うなど、交流はより活発になっています。



リンツ市 Linz

オーストリア共和国オーバーエスターライヒ州の州都。人口約20万人。ウィーン、グラーツに次ぐオーストリアで3番目に大きな商工業都市。現代アートの振興にも力を入れており2009年に欧州文化首都に選出された。世界で最も古いレシピがあるケーキと言われている「リンツアートルテ」発祥の地としても有名。